

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

2024
No.072
4月号

April

上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <http://www.amg.or.jp>
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社

医師人事企画部

第59回 2024年1月27日(土) 新宿 京王プラザホテル

AMG 新年診療部交流会

2019年度以来、4年ぶりに
診療部交流会が開催されました！

新型コロナウイルス流行後、開催を自粛していた診療部交流会が4年ぶりに通常開催されました。AMG内の病院・老健でご活躍いただいている医師の皆さまが一挙に集合し、施設の垣根を超え親睦を深めていただく一大イベントとなりました。

第一部を交流会とし、「医療訴訟から自分を守るには」「あなたのその発言・行動がハラスメント！」をテーマに、弁護士の方をお招きしての講演会を行いました。第二部では宴会場での懇親会を開催しました。第一部・第二部とも大盛況のうちに終了し、ご参加いただいた方々からはとても良い会であったとご好評のお言葉を多くいただくことが出来ました。

今回このページでは、そんな診療部交流会の様子を、少しでもご紹介させていただきます！来年は記念すべき第60回となるため、さらに充実した交流会を企画しております。このページをご覧ください。今回来年が難しかった先生方もぜひ来年は参加してみたい、と感じていただければ幸いです。

医師人事企画部中心に企画・運営しています！

診療部交流会で中心となって動いているのが
医師人事企画部のメンバーです。
招待状の作成・送付から参加者のとりまとめ、
当日の運営等を行っています。

右の写真は当日終了後、ホッとしたところの記念写真です！



左から医師人事企画部浪江、西田、森、杉山、藤原

医師人事企画部

第59回の主催は
金沢文庫病院

今回の主催病院は金沢文庫病院でした。主催病院の方々には、受付や会場内の案内等をしていただきました。

森山院長には懇親会・交流会ともに開会の挨拶を、また三浦先生には懇親会の司会をつとめていただき、スムーズな会の進行に力をお貸しいただきました。本当にありがとうございました！



左:中村 康彦会長 右:森山 浩院長(主催病院)

弁護士の先生方による講演

第一部では、加藤法律事務所より加藤慎先生、米村俊彦先生、水上裕嗣先生、虎ノ門南法律事務所より乙井秀式先生からご講演いただきました。

「医療訴訟から自分を守るには」「あなたのその発言・行動がハラスメント」をテーマとし、実例を交え分かりやすく説明していただきました。

診療科関係なく医師の皆さんが興味を持って聞くことのできる内容であり、会場は満員でした。質疑の時間では多くの手が挙がり、弁護士の先生方には予定を超えて質問にお答えいただきました。

スムーズな司会を務めていただいた金沢文庫病院の嶋谷先生、ありがとうございました。



加藤弁護士



米村弁護士



水上弁護士



乙井弁護士

会場の様子



懇親会場内には
お寿司カウンターが
出現！



美味しい料理を食べながら
話も弾みます♪



広い講演会場も
お集まりいただいた
先生方で
満員となりました。



会場内には
生花が多く飾られ
華やかです。

次回は2025年

1/25(土)

開催予定です！！

2023年度 リフレッシュ研修会報告(10・11月)



栄養部では、横のつながりを持つ目的で、様々な研修、勉強会を行っています。
2023年度は、コロナ渦に入職され、入社式や研修など開催が対面でできなかった世代の3年目、4年目の栄養研究会に所属する職員を対象にリフレッシュ研修を行いました。

4年目の対象者には、ライフスキャンジャパン株式会社を講師にお招きし、自己血糖測定器の使い方、空腹時と食後の血糖測定を行い、糖尿病患者さんがどのような気持ちで血糖測定をしているか経験ができました。昼食後の血糖値測定では、主食から食べ始めたグループと、副食から食べ始めたグループの血糖値の違いを見ながら、交流会の場も設けました。また彩の国東大宮メディカルセンターのご厚意で、病院内の見学をさせてもらい、自分たちが働いている病院との規模の違いや工夫などを目の当たりにし、大変勉強になりました。



3年目の対象者には、日本遺産の高尾山へアクティビティー研修を開催しました。体力を考慮しケーブルカーの選択肢もありましたが、参加者全員が歩いて登頂することができました。登山中の会話では「なかなか登ろうと思っても登ることが無い」「病院の中だけでなく外に出て体を動かすのは気持ちが良い」などの声が聞こえてきました。山頂ではみんなで輪になりお弁当を食べながら交流しました。おみくじを引いたり、お土産を購入したり、お団子を食べたりし、景色を楽しみながら、日頃の仕事の話や自分の趣味の話などに花を咲かせ、誰一人怪我をすることなく下山してきました。下山中に迷子になった高齢女性と一緒に下山に導くハプニングもありましたが、目的である横のつながりができた研修になりました。

研修を終えて数日後、参加者が所属するチームより、「高尾山登山のリフレッシュ研修に参加したことで自分に自信がつき、仲間ができたとうれしそうに報告がありました。退職を考えていたようですが、「もう少しがんばってみたい」と本人より前向きな発言がありました」との報告があり、早速、リフレッシュ研修の効果があつたようです。



AMGの栄養研究会に入られた職員が長く働き、より良い栄養研究会のために、横のつながりを持ち、相談しやすい仲間づくりをしながら離職防止に努めていきます。

2023年度年間学術活動報告

臨床工学部では、2023年度たくさんの学術活動報告がありました。学会での演題発表はもちろん、座長や研究会等での講演、コメンテーター、学校等での教育活動がありました。また、研究会の企画運営や学会の運営にも携わっており、年間を通して活発な学術活動が行われました。一つ一つは紹介しきれませんが、一覧としてお届けします。

※2024年1月末時点

病院・施設名	学会・研究会名	活動分類	氏名	演題名・活動内容
上尾中央総合病院	第33回日本臨床工学会	演題発表	青木 暢	業務拡充とともに変遷してきた実習内容改訂への取り組み
		演題発表	鈴木 亜久里	内視鏡業務開始に伴うCEの取り組み
		演題発表	米澤 司	TA-TAVI 心尖部送血V-A ECMOにおけるカニューレの検討
	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	座長	渡邊 文武	コメディカルセッション「補助循環」座長
		演題発表	米澤 司	局所麻酔科TAVIでの臨床工学技士の関わりについて
		演題発表	新関 大喜	エキシマレーザのPULL法における蒸散効果の基礎的検討
		演題発表	渡邊 文武	AMGにおけるZoomを用いた症例共有の経験
		演題発表	遠藤 拓馬	当院EVTにおける臨床工学技士の関わり方
	第69回日本不整脈心電学会学術大会～不整脈学と心電学のFusion～	演題発表	泉 千尋	シンポジウム「コロナを経験した今だからこそ、ABLの立ち合いを考察する」
		演題発表	泉 千尋	1st pass PV isolation後Epicardial Connectionにより右肺静脈が再伝導した3例
	第33回埼玉臨床工学会及び総会	演題発表	泉 千尋	不整脈業務を確立するための教育の取り組み(ワークショップ演者)
		演題発表	越前谷 拓朗	当院でのロボット支援業務の現状と今後の展望について
	第10回埼玉心血管コメディカル研究会基礎教育セミナー	講演	遠藤 拓馬	IVUS・OCT・OFDI
		講演	新関 大喜	デバルキングデバイス
		座長	渡邊 文武	運営・座長
	第13回豊橋ライブデモンストレーションコース	講演	黒岩 洋	アブレーションって何?
	Medtronic社内講演	講演	泉 千尋	心房ATPの各社比較と特徴 ～ReactiveATPを有効活用するヒント～
	JMS情報交換セミナー	コメンテーター	青木 暢	JMS情報交換セミナー 血液濃縮器の適正使用に関する意見交換会
	Syncope Seminar	コメンテーター	長原 雅司	LINQ II 機能の実用について
	医療関連サービス振興会 月例セミナー	講演	青木 智博	医療機器の安全管理について考える ～臨床工学技士の視点から～
三郷中央総合病院	第33回埼玉臨床工学会及び総会	演題発表	佐藤 雄太	上尾中央医科グループ 血管造影室ワーキンググループ活動報告No2
		演題発表	齋藤 翔平	PAD患者に対して足趾perfusion index測定の有用性と測定管理について
	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	演題発表	佐藤 雄太	当院での下肢動脈領域におけるACIST社製 RXiシステム Navvus II MicroCatheterの使用が治療戦略に有用だった1例
	Physiology college for medical staff 2023	演題発表	坂巻 裕介	Case discussion "当院でのPhysiology 使用方法" ～SyncVision導入から2年が経過して～
	SAITAMA ME LIVE	講演	佐藤 雄太	これが三郷の生きる道 ～三郷のアレ教えます…～
彩の国東大宮メディカルセンター	第33回日本臨床工学会	演題発表	中山 有香	心理的安全性を確保した手術支援ロボット da Vinci X チームへの臨床工学技士としての関わり
		演題発表	甲斐 颯	手術室業務拡大と手術室機器管理改善のための調査と実践
	第25回日本医療マネジメント学会学術総会	演題発表	中山 有香	上尾中央医科グループ 血管造影室ワーキンググループでの活動報告
	第64回全日本病院学会	演題発表	上村 祐太	上尾中央医科グループ 血管造影室ワーキンググループでの活動報告
		演題発表	矢作 麻結	手術室ME機器の安全管理と保守点検の確立～修理費用削減に向けた臨床工学技士からのアプローチ～
	第33回埼玉臨床工学会及び総会	講演	小原 将太	ワークショップ「手術支援ロボットと臨床工学技士の関わり」
		講演	小林 裕也	ワークショップ「ローボリューム施設における不整脈治療業務の人材育成」
		演題発表	菅波 千紘	血液浄化業務の新人教育カリキュラムを受けて～新人の立場から見たこと～
		演題発表	高杉 修平	落差式とポンプ式における腹水濾過際再静注療法の時間比較
		学会運営	中山 有香	学会運営・第3会場司会
	SAITAMA ME LIVE	コメンテーター	中山 有香	ポストンカテーテル研修会のコメンテーター
	第10回埼玉心血管コメディカル研究会基礎教育セミナー	講演	中山 有香	心電図
	日本医療科学大学	教育	中山 有香	1年生 基礎ゼミ非常勤講師「女性としての技士人生」
		教育	中山 有香	2年生 医用工学総合演習非常勤講師「心・血管カテーテル・ペースメーカー」
教育		中山 有香	3年生 生体機能装置代行学非常勤講師「血管造影室での業務内容」	

病院・施設名	学会・研究会名	活動分類	氏名	演題名・活動内容
八潮中央総合病院	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	佐藤 穂高	下肢閉塞性動脈硬化症による足部潰瘍を有する患者に対して、レオカーナを2クールで実施した1例
	第64回全日本病院学会	演題発表	青山 美玖	多職種連携による透析中リハビリテーションの6か月評価
	Web 講演会	講演	山田 亮太	下肢閉塞性動脈硬化症による足部潰瘍を有する患者に対して、レオカーナを2クール実施した1例
	埼玉県透析アミロイド症WEB講演会	講演	山田 亮太	透析患者 手指調査シート結果
	腎領域オンラインセミナー ～未来のより良い治療・働き方を考える	講演	山田 亮太	透析室におけるタスクシフティングについて
蓮田一心会病院	第14回埼玉アクセス研究会	演題発表	河合 勇樹	圧迫止血困難のシャント静脈後壁穿孔の仮性瘤に対してパイアパースステントグラフトを用いて治療した症例
伊奈病院	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	関根 達弘	患者参加型避難訓練の実施報告
	第33回日本臨床工学会	演題発表	浦山 孝梓	当院臨床工学科におけるペースメーカー業務への参入
	第43回CMS学会	演題発表	神谷 龍彦	当院臨床工学科におけるペースメーカー業務への参入
	読売理工医療福祉専門学校 学校関係者評価委員会	教育	伊藤 大輔	読売理工医療福祉専門学校の学校方針、教育方針、入学・退学・就職状況の確認会議出席
	読売理工医療福祉専門学校 教育課程編成委員会	教育	伊藤 大輔	臨床工学科のカリキュラム編成や入学・退学・就職状況の確認会議出席
	第2回読売理工医療福祉専門学校 学校関係者評価委員会	教育	伊藤 大輔	読売理工医療福祉専門学校の学校方針、教育方針、入学・退学・就職状況の確認会議出席
白岡中央総合病院	第2回読売理工医療福祉専門学校 教育課程編成委員会	教育	伊藤 大輔	臨床工学科のカリキュラム編成や入学・退学・就職状況の確認会議出席
	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	川鍋 幸村	当院における、iviz airを使用した穿刺技術向上への取り組み
	第64回全日本病院学会	演題発表	高橋 舞	当院における生体情報モニターアラーム状況とMACT活動について
	埼玉県透析アミロイド症WEB講演会	座長	佐藤 典明	on-lineHDFとリクセルについての講演・ディスカッション
	扶桑薬品工業株式会社 社内勉強会	講演	佐藤 典明	透析液の水質管理について
上尾中央第二病院	白岡南小学校 出前授業	教育	永井 淳也	私の夢
	第39回日本医工学治療学会	演題発表	斎藤 那由他	ニプロ社製逆止弁付穿刺針シールタッチカニューラの改良後の比較検討
東川口病院	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	前田 駿太	ニプロ社製逆止弁付穿刺針シールタッチカニューラの評価検討
	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	坂井 万里子	ニプロ社製IoT保守サービスDiaXrsの活用 ～透析治療の継続をさせるためのシステム導入の経験～
上尾中央クリニック	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	原 一晃	透析機械室における無人監視システムITI社製カメラシステムとニプロ社製DiaXrsの現場考察
榑川腎クリニック	第64回全日本病院学会	演題発表	工藤 佑真	当院の洗浄剤変更による透析液浄化への取り組み
西大宮腎クリニック	第29回血液透析濾過医学会 学術集会・総会	演題発表	櫻井 真里奈	V-RAの抗酸化作用と血圧変動の評価
	第64回全日本病院学会	演題発表	小内 宗一郎	当院における災害伝言ダイヤル(171) 訓練状況の報告
千葉愛友会記念病院	第64回全日本病院学会	演題発表	今井 弘子	分娩監視装置の管理方法改善への取り組み ～未来のこどもたちへ～
柏厚生総合病院	第68回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	大西 健人	当院で行った透析装置入替におけるMEの関わり方
	第1回関東甲信越CART研究会	演題発表	増村 龍一	専門医のもとで変化していった当院のCART
津田沼中央総合病院	第27回日本透析アクセス研究会	演題発表	林 伸哉	当院におけるVA管理
	千葉CART座談会@web	講演	高瀬 博美	当院でのCART治療について
勝田病院	第43回CMS学会	座長	田中 亮	4-① テーマ:効率的な病院・施設運営 座長
	茨城県透析アミロイド症WEBセミナー	コメンテーター	田中 亮	リクセル使用についての検討のディスカッションでのコメンテーター

学会発表報告 第29回血液透析濾過医学会学術集会・総会

第29回血液透析濾過医学会学術集会・総会は、2023年11月25～26日に大阪国際交流センターにて開催されました。日本各地の透析施設で行っている基礎的、臨床的な研究の発表を行い透析患者の予後や合併症の改善に努め、濾過型血液浄化法の発展と普及を目的とした血液透析濾過(HDF)に特化した学会です。より効果的な透析医療のために、特に臨床工学技士が率先して研究に取り組んでいます。



学会発表での感想と印象に残った出来事、今後の活用

今回の発表は、旭化成メディカル株式会社製ビタミンE固定化膜である透析用膜のダイアライザ「VPS-HA」からHDF用膜のヘモダイアフィルタ「V-RA(ヴィエラ)」へ変更した患者の血圧と血液データの変化について症例報告を行いました。

比較的新しいヘモダイアフィルタであることからたくさんの意見や質問をいただいたり、他施設の演者との交流があったりと大変充実した演題発表の機会となりました。

学会で得た情報・知識を自施設で共有し、日々の透析医療に還元できるように有効活用していきたいです。

報告者: 西大宮腎クリニック 櫻井 真里奈



合格者紹介～認定看護管理者・認定看護師～

看護本部

2023年度認定看護管理者・認定看護師 認定審査に合格された方のご紹介をいたします。

認定看護管理者

施設名	氏名
笛吹中央病院	山下 香織
勝田病院・介護老人保健施設 勝田	佐藤 智恵



～合格者より～

勝田病院・介護老人保健施設 勝田
看護部長 佐藤 智恵

この度、日本看護協会の認定審査に合格し、認定看護管理者になることができました。

長期の教育課程では、人材や組織・看護サービス・経営等の管理の視点と展開方法を学びました。これまでの多くの学びと経験・出会いは、私にとって今大きな財産となっています。

これからも感謝の気持ちを忘れず、職員のため病院・施設のため、地域・AMGのため、看護の組織管理を全うし、成果を出せる認定看護管理者でありたいです。引き続き、ご指導のほどよろしく願いいたします。

彩の国東大宮メディカルセンター
看護科長 塚田 麻貴子

認知症ケアにおいて「一人の人として周囲に受け容れられ、尊重されること」が大切だと言われています。様々な要因や背景が影響しあって起こる症状や行動を予防・緩和できるよう、認知症の人の視点でその人の思いに向き合っていきたいと思います。2023年4月から認知症ケアサポートチームの活動も始まりました。多職種と協働しながら、疾患の治療と共に、その人の持っている力に働きかけを行えるよう、患者、家族、スタッフのご協力を頂きながら活動していきたいと思っています。

認定看護師

施設名	氏名	認定分野	課程
上尾中央総合病院	塩谷 みどり	摂食嚥下	B
八潮中央総合病院	荒井 香苗	皮膚・排泄ケア	B
柏厚生総合病院	舘 夕子	糖尿病看護	B
津田沼中央総合病院	伊藤 由弥	感染管理	B
彩の国東大宮メディカルセンター	塚田 麻貴子	認知症看護	A
	桑垣 由紀	クリティカルケア	B
	猪瀬 有美	クリティカルケア	B
三郷中央総合病院	大杉 朋之	感染管理	B
上尾中央第二病院	齋藤 璃沙	皮膚・排泄ケア	B
埼玉回生病院	吉田 久美子	認知症看護	A

(敬称略)

ICT・介護ロボットを活用した生産性向上

～ケアセンター習志野視察からみえた未来の介護現場～

看護本部 介護科長
岩崎 太郎

2024年度介護報酬改定で「介護ロボットやICT等のテクノロジーの活用促進」が示されました。介護業界も旧態依然としたヒトの手を集中させていくケアから、質を落とさずに効率的なケアを実施していく必要性が急速に高まっています。そこで、AMG老健でも最先端の「ケアセンター習志野」のICT・介護ロボット活用状況視察結果を報告します。

まずはAMGでも導入施設が増加している「眠りスキャン」です。リアルタイムで入眠状態、呼吸、心拍数、在離床などのデータを端末で把握でき、根拠を持ったケアの介入が期待できます。

次にAIコミュニケーションロボット「LOVOT」です。人を識別し学習するラーニング機能を搭載し、可愛がってくれた人に懐くというロボットです。「ババのところにおいて、おいで」と日常の中に溶け込んでいました。

今後ますます進む介護人材不足の中でも良質なケアを提供していく必要があります。効率的な業務の在り方やデータに基づく介入方法、時にスタッフの代わりとなるロボットの導入など、改善の余地は大いにあることが今回のケアセンター習志野の取り組みから示唆されました。人手不足を嘆いていないで未来の介護に向かって取り組みたいですね。



▲LOVOT(らぼっと)

2024年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベルが開講します!

2024年度は、新規講師を2名お迎えしております。

- 「組織管理論Ⅰ」 佐藤 美香子講師
(東鷲宮病院/ナースing・エデュケーショナル・ディレクター)
- 「人材管理Ⅰ」 佐藤 智恵講師
(勝田病院・介護老人保健施設勝田/看護部長)



2024年度 看護学生実習指導者講習会 eラーニング研修を導入します!

6月4日から看護学生実習指導者講習会が開講します。

2024年度から、8科目中6科目の講義がeラーニング研修となります。

土日祝日、昼夜問わず、受講者の勤務やライフスタイルに合わせて受講ができるようになりました。

2024年度 認定看護管理者教育課程 セカンドレベルの申込みがはじまります!

- 教育目的 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術を習得する。
- 研修期間 2024年8月30日(金)~2025年2月8日(土) 計180時間 原則 週2回(金・土曜日)
- 申込期間 2024年5月1日(水)~5月31日(金)
- 定員 50名
- 受講料 210,000円



お申込みはホームページからとなっております。多くの方のご応募をお待ちしております!

2023年度 感染管理認定看護師教育課程(B課程)修了式を終わりました

2023年4月感染管理認定看護師教育課程を開講、2024年2月には本課程の集大成である「ケースレポート発表会」を開催しました。発表会では実習指導者、受講生の所属施設の方々に参列いただきました。そして、3月21日受講生6名、無事に閉講式を迎えることができました。今後の活躍を期待しています。また、4月10日に2024年度開校式を迎えました。2024年度の受講生は13名です。専門的な知識や技術を習得してAMGや地域に貢献できる人材の育成を目指します。



▲ケースレポート発表会(2/20)



▲閉講式(3/21)



未来のソーシャルワーカーをサポート 大学セミナー報告

社会福祉を学ぶ学生対象に、都内の大学で開催されたグループ病院研究合同セミナーへ、浅野SW(彩の国東大宮メディカルセンター)、杉山課長(CC習志野)、橋本課長(SW部、船橋総合)、田所(人事部)が参加。グループ病院のSW業務、働きがい等を紹介。「他職種とのかかわり」「福祉職による、病院業務と地域貢献」など多岐に渡る質問が寄せられ、意見交換実施。SWにとっては、専門職としての業務を振り返り、未来のSWとの出会いに、喜びと励みを感じる機会となりました。私達は今後も各大学と協力し、未来のSWサポートに努めます。



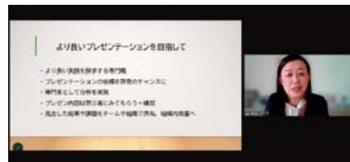
2023年度 第2回老健チーフ・代表者会議 開催

2月15日、オンライン開催。AMG学会発表内容共有、介護保険・医療保険の法改正について、在宅経営支援室 小林課長よりご講義。グループワーク、意見交換も実施。医療介護を取り巻く環境は刻々と変化し、利用者の抱える課題も複雑化しています。そのような中、グループならではの強みを活かした活動を繋げていきます。

老健運営担当：宮河(あげお愛友)、初鹿(SW部、HC流山)、高橋(HC東大宮)、飯田(HC左近山)、穎川(エルサ上尾)

「データ分析とプレゼンテーション」研修 開催

2月16日、専門シリーズ研修③「データ分析とプレゼンテーション」をオンライン開催。昨年に引き続き、社会医療研究所ソーシャルワーク・アドバイザー、日本医療SW協会副会長、認定社会福祉士制度スーパーバイザーとして多機関でご活躍の、原田とも子先生を講師に迎え、SWがデータ分析やプレゼンテーションを行うことの重要性、その取り組み方法について先生自身の現場経験も交えながらお話し頂きました。グループワークでも活発な意見交換が見られ、充実した研修となりました。



地域包括支援センター全体会議 開催

2月28日、AMG9つの包括支援センターSW達が、オンライン全体会議を開催。権利擁護を全体テーマに、2つのグループワークを実施しました。AMG内での横の繋がりを構築しながら、地域へ還元できる活動にしていきます。

包括運営担当：宮河(あげお愛友)、永野(平方包括)、殿岡(上平包括)、奈良(大谷包括)

病院管理職会議 開催報告

3月13日、今年度2回目の病院管理職会議を開催。清水室長ご挨拶、適時調査受審病院等から近況報告実施。

SW部には教育・ラダー部門、病院運営部門、実習管理部門、老健運営部門、包括運営部門、採用・広報部門があり、あらためて内容を知る機会として、各部門より活動を報告。管理職SW同士が気軽に話しあう機会となり、最後のグループワークでは悩みを共有するなど、話に花が咲きました。

「自施設・自病院の紹介、グループワーク」新人研修 開催報告

3月22日、新人シリーズ研修③「自施設・自病院の紹介」を開催。昨年同様、さがみりハビリテーション病院 患者支援室の萩原係長を講師とし、参加者は所属機関の紹介資料を事前作成、プレゼンテーション実施。集合型開催ゆえ、休憩時間には同期同士笑顔で交流。ファシリテーター役の2年目SWにとっては、自分の新人時代を振り返り、学びを後輩達に伝える良い機会になりました。

グループワーク②

【事前課題の内容】
表紙を入れて7スライド以上で下記の項目を盛り込む。
①ご自身の所属機関(包括、施設、病院)の概要・機能
②所属機関の地域について(市区町村の広さを目安)
例)地域の歴史、人口動態、高齢化率、出生率、医療資源・介護資源・福祉資源等の社会資源の状況
③所属機関の地域の中での役割
④ソーシャルワーカーの1日の業務の流れ

地域をアセスメント

みなさんに伝えたいこと

- 医療や介護は**社会のほんの一部**です!
- まず相手の**立場や役割**を知ろう!
(医療機関、施設、介護事業所、障害の事業所、行政、住民組織等々の様々な社会資源)
- 難しい状況でもストレス視点忘れず、**ポジティブな発言・提案**をしてみよう!
- せっかくグループ施設・病院なので**横の繋がり**を大切に!

教育ラダー部門：萩原(さがみりハ)、笠石(HC横浜小雀)、唐橋(CC八潮)、玉城(笠幡)

2023年度 AMG職員意識調査

人財開発室

ご協力ありがとうございました

AMG 職員意識調査 実施概要

※2024年3月18日時点

実施期間	2024年2月1日(木)～2月29日(木)	
調査対象施設	28病院・20老健・9クリニック・18施設	
対象者数	19,031人(昨年比 +225人) ※2024年2月末日在籍者	
最終母数	17,711人(昨年比 +287人)	
回収数	16,826人(昨年比 +678人)	
回収率	AMG全体	95.0%
	AMG病院全体	94.7%
	AMG老健全体	97.3%

2024年2月1日(木)から2月29日(木)にかけて、AMG職員意識調査を実施しました。

今年度は75施設、対象者は、前年度から225人増加し、19,031人です。回答は、16,826人で、AMG全体の回答率は95.0%となりました。回答いただいた職員のみなさん、貴重な声をお寄せいただきありがとうございました。また、運営にご協力いただきました担当者のみなさん、ありがとうございました。

AMGでは、職員意識調査の結果の要因分析や経年変化等を組織的な課題と捉え、改善活動に取り組んでまいります。

全体の結果や、各病院・施設別の詳細結果はただいま集計中です。

調査項目は、まとまり次第、三役を通してお返しします。

2023年度

AMG主任職初任者研修会 開催報告

2024年2月13日(火)に、AMG主任職初任者研修会をオンライン(Zoom)で開催しました。今回は、43名の新任主任が参加しました。

本研修会では、三谷宏治講師から、主任に求める能力「重要思考」の基礎となる「決める力と伝える力」についての講義がありました。講義では、決めるための考え方と話し合い方について学びます。施設や職種、年齢を問わずグループとなり、ワークでコミュニケーションを取りながら、「決めるためにダイジなことは何か」を考え、実践形式で深めていきました。

参加者からは、「伝える力の大切さを学びました。今回の講義で学んだことを生かして業務でもプライベートでも効果的な伝え方を意識していこうと思う。」などの感想が寄せられました。

研修会で学んだ重要思考を日々の業務で活用しながら、身につけていきましょう。



▲講師 三谷 宏治氏



▲研修会の様子

参加者の声

短時間でもチームでディスカッションすることで、個人よりも良い成績がでるのが面白かった。(病院・看護師)

重要思考を日々の業務の中で取り入れていき、行動することで業務効率が上がると感じた。(病院・事務)

発想力と決断力は業務だけでなく日常生活でも役立つと思った。(老健・管理栄養士)

職場内でのコミュニケーションをすることにおいて、意見交換はとても大切で相手が何を「ダイジ」にしているのかを考えることが重要だと学んだ。(老健・介護福祉士)

人財開発室

AMG階層別ノンテクニカル研修会 開催のお知らせ

係長以上全体研修会 係長以上全体研修会フォローアップ

2024年 6月26日(水)
15:00~16:30
2024年11月27日(水)

テーマ

自分自身の心を保つ、
セルフケアを考える

目的

リーダーシップを育むために、
自分自身を知りEQを高める

講師 株式会社プリングアウト 代表取締役
萩原 綾子 氏

場所 オンライン(Zoom)

対象 係長以上の全職員(全職種)
※理事・運営委員も対象
※チーフ職の主任も参加可

内容 自分自身を知りEQを高める。
その具体的方法を学ぶ。



主任職初任者研修会

①2024年 5月14日(火)
②2024年 5月21日(火)
③2025年 2月 4日(火)
13:30~17:30

①~③いずれかに参加

目的

主任に求められる
役割認識と思考能力の醸成

~重要思考基礎~
決める力と伝える力

講師 金沢工業大学 虎ノ門大学院 教授
三谷 宏治 氏

場所 オンライン(Zoom)

対象 2024年1月以降の主任職初任者(全職種)
2023年4月~2023年12月主任職初任者のうち
未受講の方

内容 主任に求める能力
重要思考基礎「決める力と伝える力」



ワークアウトファシリテーター研修会

2024年 6月27日(木)
13:30~17:30

目的

AMGのワークアウトを
盛り上げる人財を継続的に
育成する

①ワークアウトの基本と
仕組みを学ぶ
②問題解決の手法を
身につける

講師 過去の同研修会受講者によるプロジェクトチーム

場所 オンライン(Zoom)

対象 今後のワークアウト大会にて
ファシリテーターを務める者または予定者

内容 本質的な業務改善を進める手段として、
ワークアウトの基本と仕組み、
問題解決の手法を学ぶ。



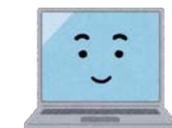
オンライン学習 ~ produced by AMG ~

事務部会



E-JIMU
E-learning

自部署と他部門の知識を向上させる



JIMUサロン
毎月1回ライブ開催

ノンテクニカルスキルを向上させる

目的 ・自部署と他部門の知識をバランスよく身につける
・自身のキャリアパスで経験していない部門の知識を向上させる
・AMG職員がAMG職員のためにコンテンツを作成し、
互いに教えられる環境をつくる

コンテンツ内容 医事・財務・総務・在宅/介護・診療情報・健康管理
地域連携・医師事務・web/IT・業務支援

特長 AMGポータルから入り、いつでもどこでも学習可能

日程 毎月1回 平日18:00以降~

開催方法 オンライン(Zoom)

対象 事務職(医療マネジメント職)・全職種
部署・役職は問わない

内容 外部講師や知識豊富な講師より、様々なノンテクニカルスキルを学ぶ
過去のテーマ 目標管理、フィードバック、プレゼンテーション、
職場コミュニケーション、タイムマネジメントなど

特長 入退出自由、参加場所自由

>>>各研修会の参加対象となる方は、個人ページに研修会の詳細がアップされますので確認してください。
(情報は研修会直前にアップします。)

>>>E-JIMU、JIMUサロンはAMGポータルより誰でも確認、視聴ができます。

<AMGポータルへアクセス> <https://amgsys02.site:8024/portal/>

AMGポータル

職員ID

パスワード

ログイン

2023年度 第2回 AMG中途入職者研修会 開催報告

2024年1月20日(土)に、今年度2回目の中途入職者研修会をオンライン(Zoom)にて開催しました。参加対象者は、2023年6月～2023年12月にAMGに中途入職した職員と、期間中に常勤になった職員です。今回は60の病院・施設から464名が集まりました。

本研修会の目的は①AMGを知る②AMG職員・医療従事者としての心得を知る、です。

研修会では、AMGグループの概要とAMGのこれまでの歩み、医療人として必要となる力やAMG職員として大事な考えを参加者へ共有しました。また、研修会後半は「なぜ医療従事者に接遇は必要か」をテーマに接客マナーと医療接遇の違い、病院・施設で求められる接遇対応を学びました。

参加したみなさんが、AMGの一員としてそれぞれの職場で活躍し続けることを願っています。

参加者の声

「愛し愛される病院・施設」を目指すには、患者さんに満足していただくこと、そして自分自身が組織の一員として何が出来るのかを考え行動することが必要だと思った。(病院・事務)

接遇について、接客との違いなど今まで知らなかったことを知ることができた。(病院・看護師)

「自分のため」ではなく「患者さんのため」に自分の身だしなみや言葉遣い等を気を付けていく。(病院・看護師)

AMGグループは多くの病院・施設があり、職員数も多く、自分もその一員であることが認識できた。(老健・介護福祉士)

プログラム



皆さんへのメッセージ 久保田総局長

医療・介護にかかわる者の心得 看護本部 林局長

接遇マナー研修 ～なぜ、医療機関に接遇が必要か～ 上尾中央総合病院 患者満足度向上委員会 緒方主任

福利厚生制度ご案内 株式会社ファースト 青山課長

人財開発室よりご案内 人財開発室 駒宮室長

上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会



お問い合わせ先 | AMQI事務局 (上尾中央総合病院 組織管理課) e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp



連載 第63回 インセンティブの壁に負けるな、回復期リハビリテーション病棟薬剤師!

皆さんはご存じでしょうか? 回復期リハビリテーション病棟は薬剤師にとって診療報酬上インセンティブのない病棟区分となっています。

高齢化が進む日本において、その病棟での薬剤師の担う役割の重要性は年々増しています。実際、ポリファーマシーの改善や副作用早期発見など薬学的ケアはもちろん、患者の服薬管理能力に応じた薬剤の選択や服薬タイミングの立案や、患者の生活モデルに合わせた処方提案も必要とされています。このように回復期リハビリテーション病棟では急性期病棟とは違った患者への関りが求められています。そして一人の患者に対し、薬剤師が関わる時間が長ければ長いほど、患者にとって有益な提案ができます。

AMG薬剤部では、インセンティブの有無に関わらず、全入

院患者に対しての服薬指導の実施を業務の柱として捉えており、それは回復期リハビリテーション病棟でも例外ではありません。またカンファレンスへの参画も目標の一つとして掲げられており、他職種との連携を図るよう促しています。

そのような背景の中、日本病院薬剤師会は、回復期リハビリテーション病棟に従事する薬剤師の活躍を期待し、その業務のあり方を示すべく「回復期病棟のかかわり方ガイド」を2024年2月に作成しました。私はこの「回復期病棟のかかわり方ガイド」を取り入れることで、より質の高い薬物治療を提供できるだけでなく、患者のQOLを最大に高めることができると考えます。近い将来、回復期リハビリテーション病棟の薬剤師にスポットが当たる時は必ず来ます。負けるな、AMG薬剤部。負けるな、回復期リハビリテーション病棟薬剤師。

2024-25シーズン クラブライセンス承認のお知らせ

いつも埼玉上尾メディックスへのご支援ご声援を賜り、誠にありがとうございます。

この度、3月21日(木)開催の第19期第10回理事会において、2024-25シーズンのクラブライセンス交付チームが決議されました。

埼玉上尾メディックスは、2024-25シーズンから始まりますSV.LEAGUEの参入資格「SVライセンス」が付与されましたことをご報告させていただきます。

引き続き、SV.LEAGUE参入に向けて、AMGの皆さま、上尾市を始めとした近隣住民の皆さまに愛し愛されるチームを目指して、様々な取り組みを行ってまいります。今後とも、ご支援ご声援のほど宜しくお願い致します。

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMENシーズン終了

埼玉上尾メディックスはセミファイナルで敗れるも、昨年を上回る第3位で大会を終えました

2023年10月21日に開幕した2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMENは、レギュラーシーズンを15勝7敗の第4位で通過。悲願の初優勝を目指してV・FINAL STAGEへ挑みました。

セミファイナルでは、今季レギュラーシーズンを全勝で勝ち上がってきたJTと対戦し惜しくも敗れましたが、翌週に群馬県・高崎アリーナにて開催されたV・FINAL STAGE 第3位決定戦では、トヨタ車体を3-0で下し、2019-20シーズンぶりの第3位入賞で大会を終えました。シーズンを通して、たくさんの熱いご声援をありがとうございました。



埼玉上尾メディックス

最終成績

V・レギュラーラウンド:15勝7敗 第4位

V・ファイナルステージ:第3位

個人賞

ベスト6:青柳京古(初受賞)



特別表彰

Vリーグ栄誉賞(230試合出場):青柳京古

※長期にわたってVリーグで活躍する選手:Vリーグの試合出場が10シーズン以上で230試合以上出場した選手

V・ファイナルステージ試合結果

クォーターファイナル @東京都大田区・片柳アリーナ

2月24日(土) ○埼玉上尾 3-1 ●デンソー (25-21, 26-28, 25-18, 25-23)

セミファイナル @東京都大田区・片柳アリーナ

2月25日(日) ●埼玉上尾 1-3 ○JT (16-25, 25-23, 20-25, 20-25)

第3位決定戦 @群馬県高崎市・高崎アリーナ

3月2日(土) ○埼玉上尾 3-0 ●トヨタ車体 (25-20, 25-22, 25-18)

大久保茂和監督コメントならびに山岸あかねキャプテンのコメントは
オフィシャルサイトにてhttps://amg.or.jp/medics/news/2023_24/news20240307.php

V・ファイナルステージ試合結果



青柳京古 選手 (写真左)

- ・生年月日:1991年12月16日
- ・身長:182cm
- ・ミドルブロッカー

青柳京古選手の受賞インタビューは
オフィシャルサイトにてhttps://amg.or.jp/medics/news/2023_24/news20240304.php

2024年度 日本代表候補選手に4名が選出

2024年度の日本代表候補に埼玉上尾メディックスから岩崎こよみ、山岸あかね、黒後愛、山中宏予の4名が選出されました。
ネーションズリーグ、そして今季の集大成であるパリ2024オリンピックに向けて戦います。

女子日本代表チームへの応援を宜しくお願い致します。



岩崎 こよみ 選手 ・生年月日:1989年5月1日
(写真左) ・身長:175cm
・ポジション:セッター

リーグ戦ではたくさんのご支援・ご声援ありがとうございました。メディックスのみんなが私を成長させてくれたから代表に選出していただけたと思っています。息子と長期間離れるのはとても寂しいですが、自分のできることをとにかく精一杯やります。息子にとって自慢の母ちゃんになれるように!家族みんなで頑張るぞ!



山岸 あかね 選手 ・生年月日:1991年1月8日
(写真右) ・身長:165cm
・ポジション:リベロ

いつもたくさんのご支援ありがとうございました。日本代表候補選手に選出していただきました。選出していただけたのは、チームメイト、スタッフ、応援してくださる方々のお陰です。感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを精一杯頑張ります。引き続き応援よろしくをお願いします。



黒後 愛 選手 ・生年月日:1998年6月14日
(写真左) ・身長:180cm
・ポジション:アウトサイドヒッター

日頃よりたくさんご声援をいただき、ありがとうございます。日本代表候補選手に選出して頂きました。選出していただいたことに感謝し、自分の持っている全てを出し切れるよう頑張ります。これからも変わらぬご声援を宜しくお願い致します。



山中 宏予 選手 ・生年月日:1999年11月11日
(写真右) ・身長:181cm
・ポジション:ミドルブロッカー

日本代表候補への選出、本当に嬉しく思います。今年度のリーグ戦では、チームメイトをはじめ、応援してくださる方々に支えられて成長できたシーズンでした。皆さんに恩返しができるように代表候補として、準備していきたいと思っています。メディックスと日本代表への応援よろしくをお願いします。

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN V Cup

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN V Cupは、外国籍選手と代表合宿参加組を除いた、これまで出場機会の少なかったメンバーを中心に構成し、厳しい状況ながらも一丸となって挑みました。残念ながらファイナルラウンド進出とはなりませんでしたが、環太平洋大学在学中の山地梨菜選手がVリーグデビューを果たすなど、若い選手たちの活躍も来シーズンへ向けての糧となる素晴らしい経験を積むことができました。

埼玉上尾メディックスは5月1日より、大阪府・Asueアリーナ大阪(大阪府中央体育館)にて開催されます第72回黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会へ挑みます。引き続き、応援宜しくお願い致します。



V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN V Cup試合結果

@岩手県紫波町・紫波町総合体育館

3月10日(日) ○埼玉上尾 3-1 ●PFU (21-25, 25-14, 27-25, 25-23)

@埼玉県蓮田市・蓮田市総合市民体育館ハルシー

3月16日(土) ●埼玉上尾 1-3 ○デンソー (19-25, 25-23, 28-30, 15-25)

@埼玉県蓮田市・蓮田市総合市民体育館ハルシー

3月17日(日) ●埼玉上尾 1-3 ○KUROBE (27-29, 25-22, 25-27, 22-25)

@茨城県ひたちなか市・ひたちなか市総合運動公園総合体育館

3月23日(土) ●埼玉上尾 1-3 ○NEC (26-24, 18-25, 20-25, 25-27)

@茨城県ひたちなか市・ひたちなか市総合運動公園総合体育館

3月24日(日) ●埼玉上尾 1-3 ○日立Astemo (25-23, 19-25, 22-25, 13-25)

